



奨学生募集

◆徳島健康生活協同組合奨学金

- 医学生 一般奨学金 月額 100,000円/月
- 医学生 特別奨学金 月額 180,000円/月
- 看護学生 奨学金① 40,000円/月
- 奨学金② 60,000円/月

※奨学金申請や免除規定等、詳しくはお問い合わせください

◆奨学金相談会◆

相談は随時受け付け中。お気軽にご相談ください（徳島県民医連学生サポートセンター ☎088-633-3224）

◆すだちDEクイズ(第13回)

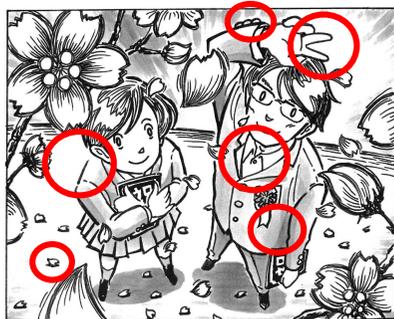
- 問①：徳島県の木といえばなんでしょう？
- 問②：徳島県の花といえばどれでしょう？
- 問③：徳島県の色といえばなんでしょう？

答えが分かった方は、右のGoogleフォームで回答を送ってください。正解者の中から5名の方に図書カードをお送りします。
※回答〆切：7/31



前回のすだちDEクイズの答え

答「①6か所」：ご応募ありがとうございました(^^)



◆徳島健康生協 学生HPのお知らせ

徳島健康生活協同組合では、研修医、医学生、看護学生、高校生を対象にホームページを開設しています。企画やイベントの案内、奨学金制度、学生実習の詳細など情報満載なので、是非のぞいてみてね☆



Point! 年度途中の申請OK

Point! 返済免除規定あり

◆薬学生対象の奨学金は

薬局法人（社）とくしま健康サポート
☎088-655-1573にお問い合わせください。

2024夏号

すだち通信

- ◆徳島健生病院 夏休み病院実習
- ◆西部診療所FWの報告
- ◆奨学金のご案内

◆連載記事

- * 医師紹介
- * 職場紹介
- * CINEMAレビュー
- * すだちDEクイズ



発行 徳島県民主医療機関連合会
徳島健康生活協同組合
徳島市下助任町4丁目9
Tel : 088-625-8412

～夏休み医学生病院実習のご案内～

受入期間：平日（月～金） お盆期間を除く
 対象：医学科全学年
 場所：徳島健生病院、診療所 他
 参加費：無料
 申込締切：実習希望日の2週間前まで
 （健康観察が必要です）

見学だけでもOK!



病院実習のお申込みはこちら



例	プランA	プランB
	オリエンテーション：病院見学	
AM	救急外来 総合診療外来	内科一般外来 外科一般外来
PM	カンファレンス 訪問診療同行	リハカンファ リハビリ同行

他にも希望に応じてプランが変更できます

徳島大学病院 研修プログラム説明会

徳島健生病院が参加します（第2部）
日時：7/6（土）14時～17時
場所：徳島大学 大塚講堂

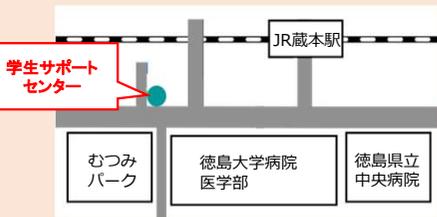
ブースにお立ち寄りください☆



◆各種お問い合わせは…

徳島県民医連学生サポートセンター

住所：徳島市庄町1丁目14-6パークハイツ1階
電話：088-633-3224 または
090-7628-2820（学生担当）まで



学生サポートセンター

むつみパーク 徳島大学病院 医学部 徳島県立中央病院

地域医療FW第三弾！ 健生西部診療所に行ってきました

医師紹介 コーナー

岸田 典子医師

徳島健生病院 医局長



- 1990年 徳島大学卒業
- 1991年 徳島健生病院入職 現在に至る
- 日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医
- 臨床研修指導医（プログラム責任者）
- 総合診療領域 特任指導医（プログラム統括責任者）

いつの間にか医師になって30年余過ぎていました。内科医なので、長い患者さんは同じだけの時を過ごしてきました。「先生も年とったな」と言ってもらえるのはありがたい言葉です。若いころはよくわからなかった話もできるようになりました。自分も腰痛や膝痛は日々感じているので、話がはずみます。最近のトレンド(?)は、親の介護と老後の迎え方です。さりげなく最期の迎え方の希望をお伺いしたりしています。医師に必要なものは、知識や技術はもちろんですが、自分自身も生物として真面目に生きることも大切だと思います。たいへんなことも多いですが、あと少なくとも10年は医師としていられるようにがんばろうと思っています。よかったら、見学・実習・研修にいらしてください。お待ちしております。

2024年3月16日、地域医療フィールドワーク第三段として、健生西部診療所企画を行いました。

4月から入学予定の新入生や入職前の学生を含む15名の医学生・看護学生・歯学生在が参加しました。



健生西部診療所は、1985年労災患者さんの要望で作られた徳島健康生活協同組合の診療所です。

日本の高度経済成長を支えた道路やトンネル工事に従事した腕利きの出稼ぎ労働者が、故郷に帰ってきてから振動障害やじん肺に苦しみました。石川所長から、その健診や労災認定、治療やリハビリ、そして労災職業病を無くすための裁判を支えてきた歴史や、現在も続く労災医療について、また過疎化が進み山間部を抱える地域での、医療や介護の実践についてお話を聞きました。

また、岡本看護部長さんのお話では、地域で暮らし続けることを支える「訪問看護」について、「訪問看護」についての基本学習にはじまり、患者さんとのエピソードや、具体的な取り組みを聞かせて頂きました。

お話の後、班に分かれて感想交流をしていると、参加者から次々に聞きたいことが出てきて、そのつど答えていただいているうちにあっという間に時間が過ぎてしまいました。さいごに医学生と看護学生へのメッセージをいただき、診療所を後にしました。

職場紹介

徳島健生病院 薬剤科

現在、薬剤科には薬剤師8名、調剤助手1名がいます。薬剤師の仕事といえば、処方箋をもとに調剤することです。それを助けてくれているのが調剤助手です。他にも、お薬の情報を発信したりすることも重要な仕事だと思っています。また、病棟に常駐して仕事をしている薬剤師もいます。病棟では、入院中の患者さんにお薬を配ったり、服薬指導を行ったりしています。病棟で仕事をしていると、医師や看護師など他職種スタッフと関わる機会も多く、お互いに色々な相談をすることも多くなります。調剤室の薬剤師と病棟の薬剤師、医師や看護師、その他スタッフが連携し、患者さんによりよい治療が行われるよう日々頑張っています。



おすすめ CINEMA紹介

映画「オッペンハイマー」

2023年製作 / アメリカ

「原爆の父」と呼ばれたアメリカの物理学者、J・ロバート・オッペンハイマーを描く人間ドラマ。ピューリッツァー賞を受賞したカイ・バード、マーティン・J・シャーウィンによる伝記を原作に、人類に原子爆弾という存在をもたらした男の人生を描く。



ドイツで理論物理学を学び、博士号を取得したJ・ロバート・オッペンハイマー（キリアン・マーフィ）は、アメリカへ帰国する。第2次世界大戦中、極秘プロジェクト「マンハッタン計画」に参加した彼は、世界初の原子爆弾の開発に成功する。しかし実際に原爆が広島と長崎に投下されると、その惨状を知ったオッペンハイマーは苦悩する。冷戦時代に入り、核開発競争の加速を懸念した彼は、水素爆弾の開発に反対の姿勢を示したことから追い詰められていく。まだまだ上映中、出かけた先でやっていたらぜひご覧ください。

PT酒井悠悟

・大学でも勉強していた職業病について、徳島でも実際にどの地域で多く、どのような患者さんがいるかを学べたのが良かった。
・労働環境が考え直されている現在でも診断されている人がいるということを知ることができた。

・患者さんのニーズに合わせて診療所を増設したりして、医療を受けられる体制を整えることが大事だと思った。
・山間部ではアクセス面が課題だと思った。

過疎化が進む地域でも地域住民のために懸命に看護を提供していたり周りの病院とも連携を行いながらサポートしていることを知った。

・訪問看護ステーションのことも知ることが出来てよかった。医療過疎地域では医療施設1つがカバーしなければならぬ範囲がとても広がっていることがわかった。

